



令和5年12月14日
海上保安庁

令和5年度海洋情報部研究成果発表会を開催 ～海洋底の広域マッピング、その歴史と将来～

海上保安庁海洋情報部は、最新の調査・研究成果などを紹介する「海洋情報部研究成果発表会」を毎年開催しています。今年度は、令和6年1月25日に「海洋底の広域マッピング、その歴史と将来」をテーマに、海洋調査とマッピングの歴史を振り返りつつ、今後どのように捉えることができるのかなど、最新の調査技術とデータ処理に関する研究成果などを発表します。

発表会では、海洋情報部が実施した国連海洋法条約に基づく大陸棚調査や、現在実施している広域の海洋調査により得られた研究成果等について発表を行います。

また、基調講演として、東京大学大気海洋研究所副所長 沖野 郷子氏から「海底地形を測る：空間軸と時間軸を広げる」、国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門火山・地球内部研究センター主任研究員 桑谷 立氏から「データ科学時代の海洋地球データプロセッシング」と題し、講演をいただくこととしています。

記

- 1 開催日時
令和6年1月25日（木）13：30～17：45（13：00開場）
- 2 開催方法（ハイブリッド方式）
会場：中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室
（東京都千代田区霞が関3丁目1番1号）
オンライン：Cisco Webex Meetings
- 3 発表内容等
別紙1「令和5年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照願います。
- 4 参加申込等
 - （1）会場及びオンラインともに参加は無料です。
 - （2）別紙2「参加申込み方法」をご参照のうえ、申込みをお願いします。
 - （3）会場の座席数は最大150席です。
 - （4）会場に専用駐車場はございませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

令和 5 年度海洋情報部研究成果発表会/水路新技術講演会プログラム

日 時：令和 6 年 1 月 25 日（木）13:30～17:45（13:00 開場）
会 場：中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用 220 会議室
方 式：ハイブリッド方式（会場開催と Web によるオンライン開催）
主 催：海上保安庁海洋情報部 共 催：一般財団法人日本水路協会

テーマ：海洋底の広域マッピング、その歴史と将来

<開会挨拶>

13:30-13:40 海洋情報部長 藤田 雅之

<口頭発表>

- ①13:40-14:20 【基調講演Ⅰ】
海底地形を測る：空間軸と時間軸を広げる
東京大学大気海洋研究所 副所長
海洋地球システム研究系海洋底科学部門 教授 沖野 郷子
- ②14:20-15:00 【基調講演Ⅱ】
データ科学時代の海洋地球データプロセッシング
国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門
火山・地球内部研究センター 固体地球データ科学研究グループ
主任研究員（グループリーダー） 桑谷 立
- 15:00-15:20 休憩
- ③15:20-15:45 大陸棚調査が拓いたフィリピン海の海洋底科学
技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
- ④15:45-16:10 東シナ海における海底地形の広域マッピング
技術・国際課 南 宏樹
- ⑤16:10-16:30 東シナ海における露岩分布の広域マッピング
大洋調査課 青木 智
- ⑥16:30-16:50 堆積物から復元する東シナ海北部の古海洋変動
技術・国際課 海洋研究室 齋藤 京太
- ⑦16:50-17:15 海底地形マッピングの国際的な動向と技術的な取組み
技術・国際課 海洋研究室 住吉 昌直

※講演及び発表の時間には、質疑応答時間を含みます。

17:15-17:25 全体的な質疑応答

<ポスター発表(会場展示)>

17:25-17:40 ポスター発表者より紹介

- P1 海洋底の広域マッピング
～海底地形の名称に関する検討会（JCUFN）について～
情報管理課 地名担当
- P2 2023年までに得られた海底地殻変動観測の成果
沿岸調査課海洋防災調査室 海底地殻変動観測グループ
- P3 海洋内部の流体運動を模した直接数値計算法まとめ
—密度成層系における鉛直シア一流を例に—
大洋調査課 堀之内龍一
- P4 東シナ海陸棚斜面域沖男女海陵群付近に分布するチャンネル様構造と
波状ベッドフォームの観測速報
大洋調査課 堀之内龍一、長澤亮佑、友久武司、川上友希、
青木智、田寺優香
技術・国際課 齋藤京太
- P5 AUV搭載センサによる深度・音速計測値がもつ挙動依存性
大洋調査課 長澤亮佑、技術・国際課 住吉昌直
- P6 マルチビーム音響測深機の生成データにおける内容の可視化と容量の予測
大洋調査課 長澤亮佑、技術・国際課 住吉昌直

<閉会挨拶>

17:40-17:45 技術・国際課長 富山 新一

参加申込み方法

参加を希望される方は、次の要領により事前に申込みをお願いします。

1 申込方法

海上保安庁海洋情報部のホームページから「[参加申込みボタン](#)」をクリック又は、スマートフォンなどにて、次の二次元バーコードを読み取り、フォームに従い必要事項を入力の上、お申込みください。

<必要事項>

- ①聴講方法（会場またはオンライン）、
- ②氏名、③ 所属、④ 連絡先（メールアドレス）



2 申込期間

令和6年1月18日(木)まで

※お申込みが多数の場合は、期間中に締め切りとさせていただく場合があります。会場参加は先着順となりますので、予めご了承ください。

3 参加費 無料

4 参加条件

- (1) 発表会は、Web 会議サービス Cisco Webex Meetings を使用します。
受講環境は、参加者ご自身で設定してくださいようお願いいたします。
- (2) Web 会議サービスに参加する際、アクセス名の入力が必要です。
お申込み時に記入した「氏名」を使用してください。
- (3) 発表会開催中は、入力したアクセス名「氏名」が、参加者全員に公開されることを承諾願います。

5 参加者への通知

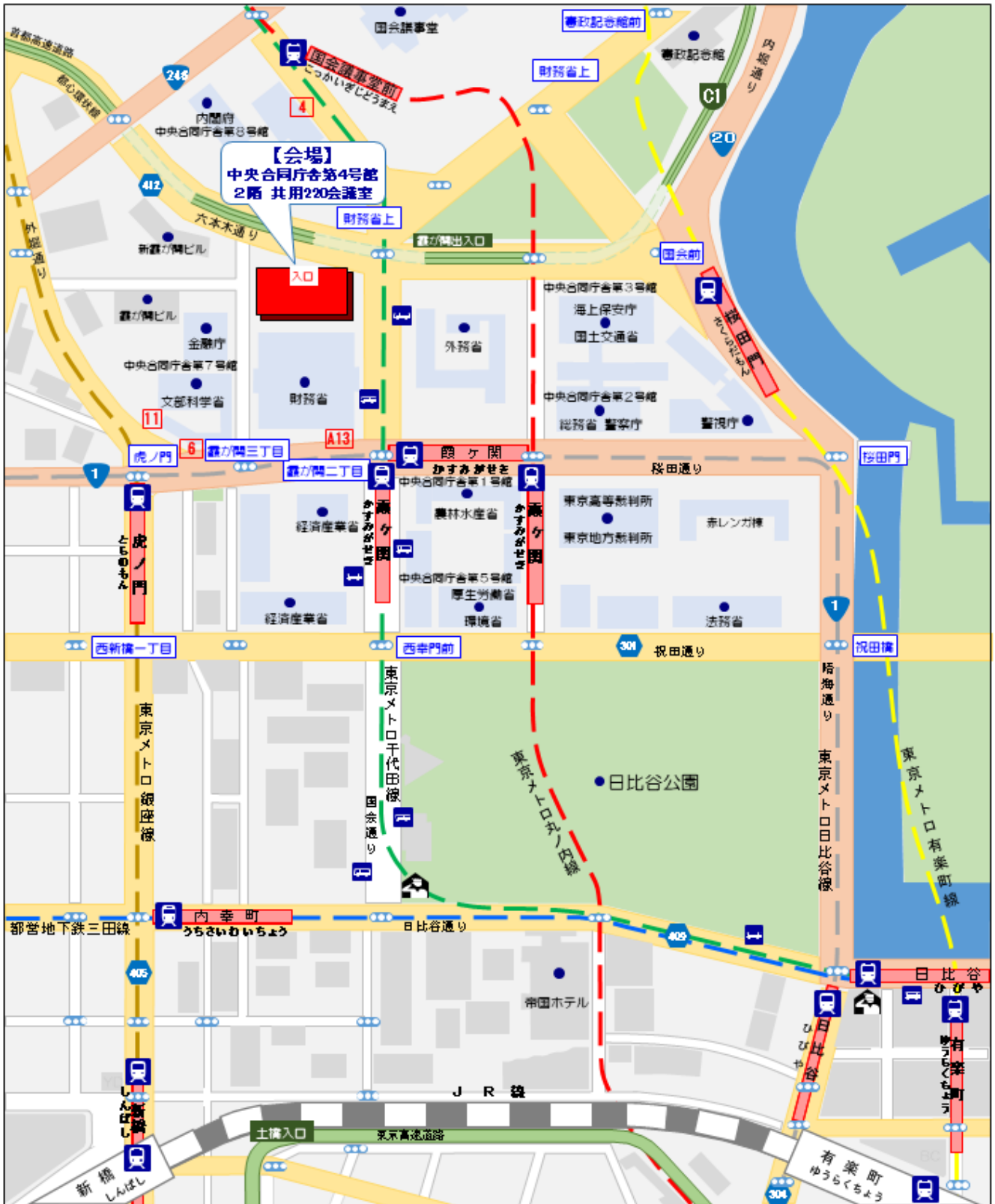
令和6年1月19日(金)までに、お申込み時に記入いただいた連絡先（メールアドレス）へご連絡いたします。

6 その他

基調講演及び成果発表の録画動画は、後日、海洋情報部ホームページで公開方法をお知らせいたします。

ご参加お待ちしております。

会場へのアクセス



海洋情報部研究成果発表会 会場へのアクセス

会場 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室
東京都千代田区霧ヶ関3丁目1番1号

最寄り駅 東京メトロ

- ・丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霧ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分
- ・丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」4番出口 徒歩5分
- ・銀座線「虎ノ門駅」6・11番出口 徒歩5分



令和5年度海洋情報部研究成果発表会／水路新技術講演会

海洋底の広域マッピング、 その歴史と将来

令和6年1月25日(木)

午後1時30分から(開場午後1時)

主催者挨拶

海洋情報部長 藤田 雅之

基調講演 I

海底地形を測る：空間軸と時間軸を広げる

東京大学大気海洋研究所 副所長

海洋地球システム研究系海洋底科学部門 教授 沖野 郷子

基調講演 II

データ科学時代の海洋地球データプロセッシング

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門

火山・地球内部研究センター 固体地球データ科学研究グループ

主任研究員(グループリーダー) 桑谷 立

成果発表

大陸棚調査が拓いたフィリピン海の海洋底科学

技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦

東シナ海における海底地形の広域マッピング

技術・国際課 南 宏樹

東シナ海における露岩分布の広域マッピング

大洋調査課 青木 智

堆積物から復元する東シナ海北部の古海洋変動

技術・国際課 海洋研究室 齋藤 京太

海底地形マッピングの国際的な動向と技術的な取組み

技術・国際課 海洋研究室 住吉 昌直

※そのほかポスター発表あり

開催方法 **会場&オンラインハイブリッド**

会場：東京都千代田区霞が関 中央合同庁舎第4号館 共用220会議室

東京メトロ 霞ヶ関駅・虎ノ門駅・国会議事堂前駅から徒歩5分

オンライン：Web会議サービス(Cisco Webex Meetings)

参加費：**無料** 事前申込み制

※詳しくは、海上保安庁海洋情報部ホームページをご覧ください。

主催：海上保安庁海洋情報部 共催：一般財団法人日本水路協会

